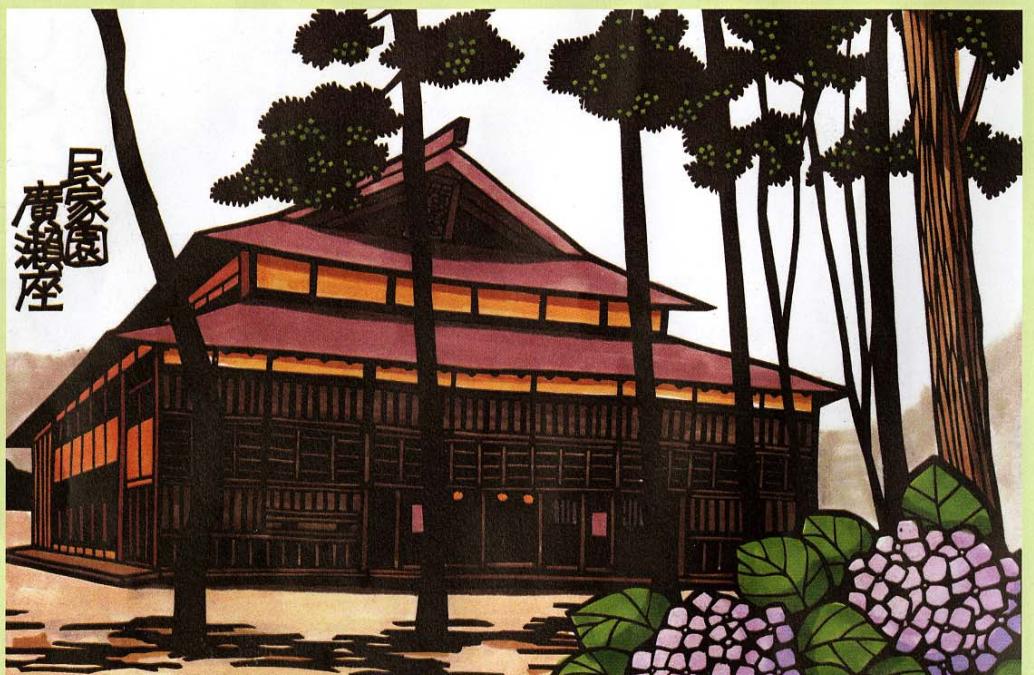


しゅふかわ

特集 放談会「自分らしく生きるということ!」 大変な家族にこそ 最高の環境を ~「パンダハウスを育てる会」



表紙紹介（民家園 旧廣瀬座）

明治時代に伊達郡梁川町(現伊達市梁川町)の有志によって町内広瀬川川岸に建てられた芝居小屋です。福島市西部にある福島市民家園に平成6年に復原され、当時の様子を伝える貴重な芝居小屋として国指定重要文化財に指定されています。普段は「たみま席」までしか入ることはできませんが、年に1回程度芝居小屋として公演が行われているそうですが、構図を決めるときにアシジィさんの本が目にひつたってありました。



No.29
2008
SPRING

大変な家庭にこそ 最高の環境を ~「パンダハウスを育てる会

丙気とたかう子ども達とその家族がゆったりと滞在できるようにと作られた「パンダハウス」。この施設の運営を陰ながら支えている「パンダハウスを育てる会」のみなさんの活動をご紹介します。



○パンダハウスとは?

県立医大付属病院で治療を受けている子どもと付き添う家族のためのサポートハウスです。病院に程近い、緑と自然に囲まれた静かな環境に建つ軒家です。「ここが一時外泊の際に家族で食事をしたり、遠くから会面に来た家族の宿泊場所になつたりします。リビングには絵本やおもちゃが置かれ、キッズは料理やおやつが自由に作れるよう備品が揃っています。まるで自宅にいるように満たせる「もうひとつ我が家」として利用されています。

恒例のバザーも好評です。春と秋の年2回福島県立医大付属病院のロビーで行われます。スタッフや手作り仲間の手工芸作品など、出品され、毎回病院を訪れる人々や職員に大好評です。私達が計られた目標も様々で、思いに品定めを楽しんできました。

バザーで得られる収入も大切な活動資金になり、それ以上に活動の内容を知つてもらおうのです。

連絡先



▲ 月1回ほど全員そろって打ち合わせ



▲「パンダハウスを育てる会
よろしくお願いします!」

「自分らしさ」って何だろう。
簡単なようですが、実は答えるのがとても
難しいテーマだと思います。

しのぶひあ編集委員会
伊藤啓子 加藤麻里 佐藤映子
表紙…切絵作家のさとうてるさんの作
※「しのぶひあ」は年2回発行。各学
校など市立図書館に置いてあります。
また、市のホーメージでもご覧いただけ
ます。
現在…編集委員を募集しています。
は、ホームページ、お電話等でお問い合わせ
下さい。

品です。

福島市総務部男女共同参画センター
ウイズ・もとまち



